

福田富昭会長と日本レスリング協会の 18 年

(2005 年～2008 年)

2005 年

【1 月 1 日】試合時間が、3 分 2 ペリオドの 3 ポイント・ノルマ制から、2 分 3 ペリオドの 2 ペリオド先取制に変更（前年 12 月の全日本選手権で先どりを実施）。

【3 月 26 日】本協会理事会で、福田富昭会長・高田裕司専務理事体制の継続を承認。ともに 2 期目。

【6 月 3 日】国際レスリング連盟（FILA）の意向を受け、レスリングの新たなスタイルとして関節技・絞め技のある「パンクラチオン」の導入を決定。総合格闘技委員会でルールなどを検討していくことを決定。

【7 月 8 日】国際オリンピック委員会（IOC）の総会がシンガポールで開催。2004 年アテネ大会で実施された 28 競技の 2012 年ロンドン・オリンピックでの実施可否の投票が行われ、レスリングは実施競技として残った。野球とソフトボールが除外された。

【7 月 9 日】日本オリンピック委員会（JOC）が、8 月にトルコ・イズミールで行われるユニバーシアードの開会式旗手に吉田沙保里選手を発表。

【7 月 28～30 日】茨城・大洗町総合運動公園体育館でアジア・カデット選手権を開催。日本では初開催。

【7 月 31 日】茨城・大洗サンビーチで第 1 回全日本ビーチ選手権をドン・キホーテ杯として開催。

【10 月 27 日】国際オリンピック委員会（IOC）の理事会で、国際レスリング連盟（FILA）から申請されたオリンピックでの女子 7 階級の実施は却下される



▲全日本合宿で新ルールを説明する富山英明強化委員長



▲FILA 首脳、オリンピックオン、プロ格闘家、プロレスラーが参加して第 1 回ビーチ大会を開催

2006 年

【1月5～15日】東京・国立スポーツ科学センター（JISS）で第3回となる**世界女子合宿**を実施。中国など13ヶ国から約70選手が参加。

【3月18日】国際レスリング連盟（FILA）が新種目として導入を目指している「パンクラチオン」の初のテストマッチ、**第1回全日本パンクラチオンスタイル1バウト大会**が東京・町田市立総合体育館サブアリーナで開催される。

【5月18日】日本オリンピック委員会（JOC）理事会で、12月のドーハ・アジア大会の副団長に**JOC強化本部長の福田会長**が決定。



▲パンクラチオンの第1回大会であいさつする福田会長

【5月20～21日】愛知・稲永スポーツセンターで**女子ワールドカップ**を開催。日本は予選リーグと決勝を勝ち抜き、3年連続5度目の優勝。

【10月26日】日本オリンピック委員会（JOC）理事会で、12月のアジア大会（カタール）開会式の旗手に**吉田沙保里選手**が決定。

2007 年

【1月26～28日】会場の都合で、2006年度全日本選手権を東京・駒沢体育館で開催。総合とK-1で活躍中の**山本徳郁（山梨学院大OB）**が復帰参戦。中継の日本テレビを除いた取材申請は94社から245人に達し、大会史上最高を記録。

【3月25日】日本協会の理事会・評議員会が行われ、**福田富昭会長、高田裕司専務理事**がともに再選。ともに3期目。



▲山本 KID の出場に長蛇の列の全日本選手権

【3月27日】日本オリンピック委員会（JOC）の理事会で、**福田富昭選手強化本部長の留任**が決定。

【6月27日】日本オリンピック委員会（JOC）理事会で、翌年の北京オリンピックの**日本選手団団長**に**福田富昭強化本部長**の起用を決定。JOCが1991年に日本体育協会から独立して以来、夏季オリンピックの団長を会長以外の幹部が務めるのは初めて。

【8月27日～9月13日】戦禍が続いたイラクを支援する外務省の活動への協力として、イラクのレスリング・チームを受け入れ、全日本合宿や山梨学院大の練習に参加させる。

【11月12～22日】中国のベストメンバーを含めた世界9ヶ国が来日しての女子の第4回世界合宿が東京・国立スポーツ科学センター（JISS）で開催させる。15～18日には国際レスリング連盟（FILA）のコーチクリニックも行われ、栄和人・女子ヘッドコーチがベスト・コーチ賞に選ばれる。

2008年

【1月1日】前月30日から東京・国立スポーツ科学センター（JISS）で男女合同の年越し合宿。元旦は台場で寒中水泳に挑んだ。



▲4年前に続いて寒中水泳に挑んだ福田会長

【1月21日】国立スポーツ科学センター（JISS）の隣に、6面マットを備えた常設練習&合宿所のナショナルトレーニングセンター（NTC＝現・味の素NTC）が完成。NTC本部長に福田富昭会長が就任。

【2月4日】男子グレコローマンの全日本チームがナショナルトレーニングセンター（NTC）を初使用。以後、全日本チームの常設合宿所となる。

【4月4日】ナショナルトレーニングセンター（NTC）に有望な中高生選手を集めて長期的に育成するJOCエリートアカデミーがスタート。入所する男女5選手が参加して開校式が行われた。

【7月17日】男子両スタイルの長野・菅平合宿で標高2207メートルの根子岳登山。公開取材とし、取材に来た報道陣にも登山を“強要”するというユニークな試みを実施。22社から約40人の記者・カメラマンが頂上まで登り、福田会長も30年ぶりに登頂を果たす。



▲30年ぶり、66歳にして根子岳登頂の福田会長

【7月25日】北京オリンピック代表選手の壮行会が、この日開幕の全国少年少女選手権開会式の前に行われ、約1600人のキッズ選手を前に健闘を誓った。



▲1600人のキッズ選手に健闘を誓った北京オリンピック代表チーム

【8月10日】北京オリンピックのレスリング競技を前に国際レスリング連盟（FILA）の理事会が行われ、理事選挙で福田会長がトップ当選（104票中78票を獲得）。3期目を迎えることになった。

【8月11～21日】北京オリンピックのレスリング競技が開催。日本は、前回と同じく女子2選手（吉田沙保里、伊調馨）の金メダルを含めて出場4選手がメダル獲得。男子は「銀1・銅1」を取り（2017年にドーピング違反による繰り上げで、銀2へ）、メダル獲得の伝統を継続。



▲2連覇の吉田沙保里を祝福する福田会長

【9月17日】北京オリンピックのメダル獲得祝賀会と10月に行われる世界女子選手権の壮行会が東京・明治記念館で行われ、約500人の招待客にオリンピックの報告と世界女子選手権の健闘を誓った。

【10月11～13日】東京・代々木競技場第1体育館で世界女子選手権を開催。41ヶ国から145選手が参加。日本は、日本での世界選手権開催は1990年の男子フリースタイル以来、18年ぶり。日本は金メダル4個を含め7階級すべてでメダルを取った。

【10月15～18日】東京・ナショナルトレーニングセンター（NTC）で、世界女子選手権に出場した中の15ヶ国の選手が参加して世界合宿を開催。



▲世界女子選手権の最中に日本の歴代世界チャンピオンが集合